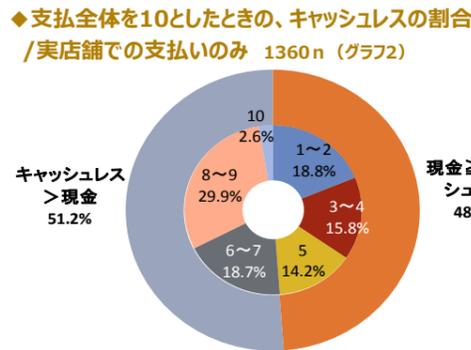
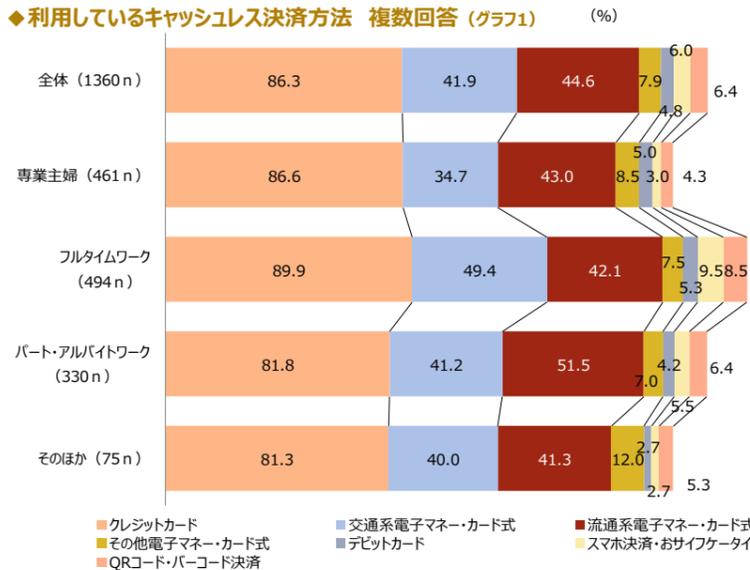


01 Woman's Trend

進まない？ 進みつつある？ 女性たちのキャッシュレス決済事情 セキュリティ対策と、お金の動きの見える化がカギ



キャッシュレス決済について疑問や不満に思うこと (FA抜粋)

- ・いろいろな種類があり過ぎて、考えるのも面倒くさい (45歳)
- ・○○Payが増えすぎて、違いがよく分からない (42歳)
- ・いろいろな交通系カードやスマホ決済が混在していて、逆に煩雑で分かりにくい。クレジットカードさえ使えば十分だと思う (31歳)
- ・携帯をなくした時に悪用されたらと思うと不安。安全面が確認できたら使いたいと思う (39歳)
- ・身に覚えのないスマホ決済の請求が来たというニュースを見た。安全面での対策を知りたい (42歳)
- ・使える店に限られる。ポイントカードもスマホで完結させたい。明細を明確に表示してほしい (42歳)
- ・チャージ式は残高が分からなくなることがあって不便だし、結局現金が必要になる (33歳)

◆電子マネー・カード式のデメリット



◆スマホ決済のデメリット



経済産業省が昨年4月に発表した「キャッシュレス・ビジョン」では、2025年までに日本国内のキャッシュレス決済率を40%にするという目標が打ち立てられた。2015年の時点でキャッシュレス決済の普及状況を海外と比較すると、韓国の89.1%を筆頭にキャッシュレス決済が進んでいる諸外国は40~60%台なのに対し、日本は18.4%。あと6年で約3倍に増やしていこうという国の後押しもあり、ここ数年、スマホ決済を中心としたサービスが続々登場しているが、女性たちの利用実態はどうだろうか？ ネット通販の買い物や交通機関利用を除く、実店舗での買い物に現金以外の決済方法を利用している1360人に調査した。

超える(グラフ1)。働き方別に見ると、フルタイムワーク者に交通系電子マネー、パート・アルバイトワーク者に流通系電子マネー利用が多いのが特徴。スマホ決済、QRコード決済利用者はそれぞれ、全体ではまだ10%に満たないものの、支払い方法で、現金とキャッシュレス決済、どちらの方が多くは、ほぼ半数ずつ(グラフ2)という結果になり、日常生活の中に少しずつ、キャッシュレスの波は入り込んできているようだ。

カード式電子マネーのメリットは、「キャッシュバックやポイントがたまると」「会計がスムーズ」が半数超え。デメリットは、「店によって使える電子マネーが違う」が約6割。そのほかセキュリティ関連の心配が続き、「残高管理がしにくい」「つい、お金を使い過ぎてしまう」も約1/4にのぼる(グラフ3)。スマホ決済利用者が挙げたデメリットでも、「使える店

に限られる」「スマホ特有のトラブルやセキュリティ問題」が続くが、「残高管理がしにくい」は11.0%にとどまった(グラフ4)。

「実は電子的に管理する方が、お金の動きが見える化できて、管理しやすいんです。LINE Payでは、お支払い後、ほぼリアルタイムでLINE通知が届き履歴も残ります。家計簿サービスとの連動もできますので、家計管理も簡単です」と語るの

はLINE Payの上岡真由さん。昨年100万円以上でスマホ決済が可能になった同社。今年、ローカルや中小規模の店舗での導入を積極的に進めていくという。利用可能店舗が増え自分に合ったサービスが選びやすくなる、しっかりとしたセキュリティ対策、お金の管理が心配という心理的ハードルの払しょく、この3つがキャッシュレス決済普及のカギといえそうだ。(所長 西 桂子)

2018.12.19~12.25 リビングWeb・あんふぁんWeb・シティリビングWebでのWeb調査 集計数：1360人 平均年齢：44.7歳 / フルタイムワーク36.3% パート・アルバイトワーク24.3% 専業主婦33.9% その他5.5% データは小数点2位以下四捨五入

内訳：20代以下9.0% 30代28.1% 40代31.5% 50代18.8% 60代以上12.6%

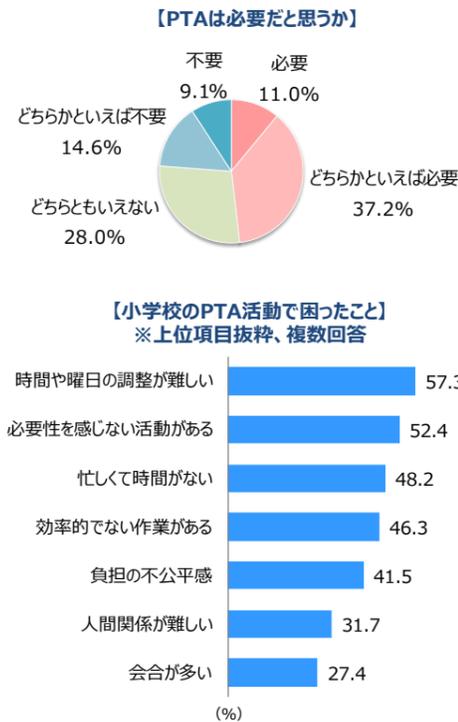
02 Working Woman's Real

【小学生ママ(有職)のPTA事情】 本当に“子どものため”になることは したいが、もっと効率化できるのでは？

子どもが通う小学校のPTAに加入している有職ママに、PTAとの関わりについて調査した。PTAは「必要・どちらかといえば必要」という人が48.2%と多数派。理由のフリーアンサーでは、「地域・学校があつての教育なので、仕事が忙しいと言えども親として参加する責任はある」など、PTAの意義を感じている声が目立った。PTAのいい点(8項目から選択)としては、「学校の様子を知ることができる」68.3%、「子どもの学校生活・安全をサポートできる」53.0%、「教師・学校との信頼関係の構築」43.3%が上位に。

PTA活動をしていて困ったことを聞くと、「時間や曜日の調整が難しい」57.3%、「忙しくて時間がない」48.2%と、スケジュール調整に悩む様子が窺える。また、「必要性を感じない活動がある」52.4%、「効率的でない作業がある」46.3%と、スリム化を望む気持ちも強い。“子どものため”になることはしたいが、忙しい中どうやりくりするか...と揺れるココロが表れている。

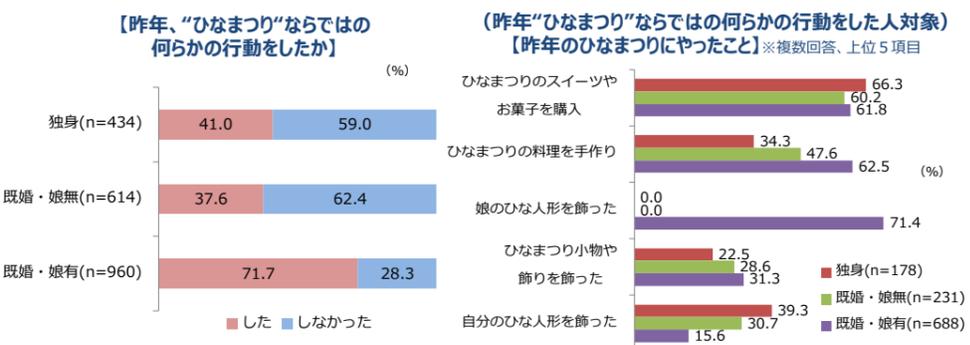
2018.12.12~12.17 「シティリビングWeb」「あんふぁんWeb」「リビングWeb」でのアンケート調査 集計数：164 (フルタイムワーク者 42.7%、パート・アルバイト者 57.3%)



03 Seasonal Data

ひなまつりに関するデータはくらしHOWサイト「暮らしの歳時記と消費」に掲載中！

スイーツにひな人形、大人になっても楽しむオンナの節句！ 独身女性4割が「自分のひな人形を飾る」



昨年のひなまつりに、「ひなまつり」ならではの何らかの行動をした女性は全体の55.0%。娘のいる既婚女性は71.7%とももちろん多いものの、娘のいない既婚女性で37.6%、独身女性も41.0%と、未既婚や娘がいるかどうかにかかわらず、ひなまつりを楽しむ女性は少なくない。

昨年のひなまつりにやったことは、「ひなまつりのスイーツやお菓子を購入」「ひなまつりの料理を手作り」「娘のひな人形を飾った」がトップ3。「自分のひな人形を飾った」という女

性も独身で39.3%、既婚(娘無し)で30.7%おり、小さな女の子のいない家でも、ひな人形は女性たちの目を楽しませているようだ。「ひなまつりの料理を手作り」したのは既婚(娘有)が62.5%と一番多いが、どの層も6割以上と多かったのが「ひなまつりのスイーツやお菓子を購入」。6割がスーパー、3割が百貨店で購入しており、「必ず期間限定ケーキを買う」という声も。ほか「独身の女友達で集合して着物飲み会」など斬新な「おとなひなまつり」の形も見られた。

調査方法 / Webアンケート 調査対象 / 「リビングWeb」「シティリビングWeb」「あんふぁんWeb」ユーザー(回答者プロフィール)未既婚：独身21.6%、既婚78.4% 子どもの有無：いる65.8%、いない34.2% 調査期間 / 2019.01.16~01.20 有効回答数 / 女性2008人 (平均年齢：45.2歳)